

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年6月17日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年6月17日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(A)一括処理タンクのpH計出入口弁シート漏えいについて】</p> <p>既設多核種除去設備(A)一括処理タンクpH計の定例校正を実施するため、pH計の出入口弁を全閉にしたが、検出器上蓋を外すと水が溢れることより入口弁または出口弁シート漏えいと判断。当該弁のシート漏えいにより、pH計の定例校正はできなかったが、他に校正されたpH計が2台あり運転に支障はない。</p> <p>なお、漏えいした水の床面等への滴下はない。</p> <p>今後、弁の点検修理とpH計の校正を実施予定。</p>	GⅢ	6月10日
2	<p>【Bタンクエリア排水弁の全閉動作不良について】</p> <p>当直員にて雨水移送のためBタンクエリアの排水弁を操作スイッチによる自動操作で全閉操作したところ、「Bタンクエリア排水弁異常」警報が発生し、排水弁が中間位置で止まったことを確認。</p> <p>当該弁を操作スイッチによる自動操作で開閉操作を実施した結果、全閉とならなかったことから、弁内部の異物噛み込みにより、全閉位置手前で過負荷に至り止まったものと推定。なお、全開操作は異常がない。</p> <p>当該弁は、弁本体のハンドルによる手動操作では全閉になったため、雨水の移送は可能。また、Bタンクエリアの堰内排水は他の排水弁で可能。</p> <p>今後、点検修理予定。</p>	GⅢ	6月11日
3	<p>【6号機非常用ディーゼル発電機(B)始動用空気系逆止弁のシート漏えいについて】</p> <p>6号機非常用ディーゼル発電機(B)の計画点検において、始動用空気系漏えい確認で逆止弁のシート漏えいを確認。</p> <p>原因は、弁体の開固着によるものと推定。</p> <p>なお、始動用空気配管外部への漏えいはない。</p> <p>今後、点検修理予定。</p>	GⅢ	6月15日